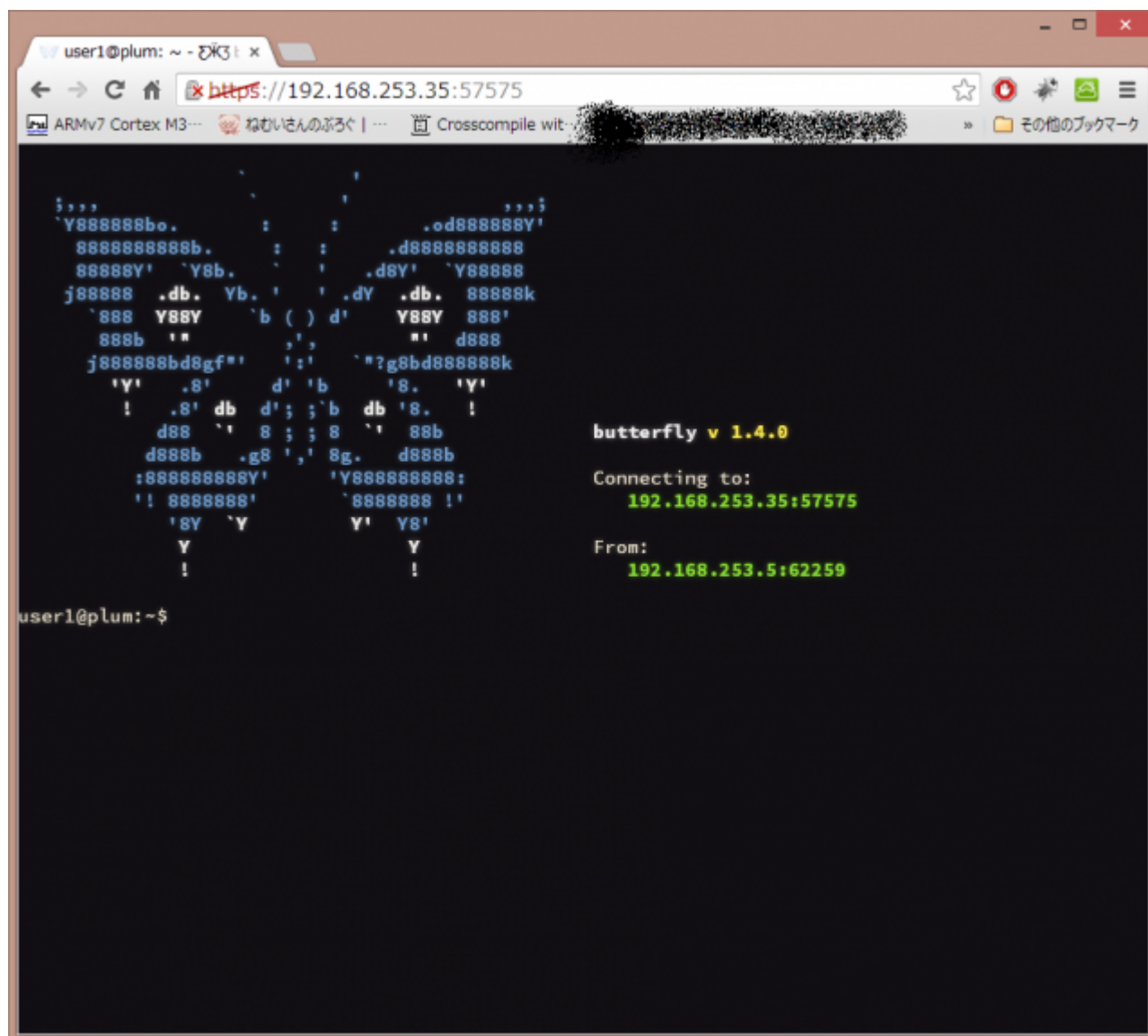


目次

Webベースターミナル(butterfly)の利用	3
設定の有効化	3
設定ファイルの編集	3
butterflyサーバの起動	4
クライアント証明書のインポート	5
ブラウザでのアクセス	13

Webベースターミナル(butterfly)の利用

Webブラウザで利用できるWebベースのターミナル [butterfly^{1\)}](#) をインストールしています。



[butterfly_cap.mp4](#)

初期状態では有効にしていないので、有効化するためには設定ファイルを編集する必要があります。

設定の有効化

設定ファイルの編集

設定ファイルは、`/etc/default/butterfly` です。

デフォルトの内容は下記のとおりとなっています。

```
START=no
USER=user1
HOST=0.0.0.0
PORT=57575
UNSECURE=0
```

それぞれの項目の意味は下表のとおりです。

キー	初期値	内容	設定可能な値
START	no	butterfly 有効/無効 切替	"yes"/"no"
USER	user1	butterfly アカウント	登録してあるアカウント名
HOST	0.0.0.0	bindアドレス	
PORT	57575	bindポート	
UNSECURE	0	SSLクライアント認証なし(1: HTTP接続)	"1"/"0"

インターネット経由でアクセスする場合、セキュリティ的に問題がありますので
"UNSECURE" を "1" にすることはおすすめできません。
有効にする場合LAN内での利用に限定することをおすすめします。

有効化するために"START" を "yes" に設定して保存します。

```
user1@plum:~$ sudo cat /etc/default/butterfly
START=yes <----- "yes" に変更した
USER=user1
HOST=0.0.0.0
PORT=57575
UNSECURE=0
user1@plum:~$
```

butterflyサーバの起動

butterfly を起動します。

```
user1@plum:~$ sudo service butterfly start
butterfly start/running, process 1318
user1@plum:~$
```

初回起動時は、証明書関係を自動で作成します。
作成されたクライアント証明書は、USERで指定したアカウントのホームディレクトリにコピーされま
す。

```
user1@plum:~$ ls -l
total 8
-rw-r--r-- 1 user1 user1 1298 Mar 25 13:35 butterfly_ca.crt
```

```
-rw-r--r-- 1 user1 user1 3586 Mar 25 13:35 user1.p12
user1@plum:~$
```

クライアント証明書のインポート

アクセスするブラウザにこの証明書をインポートします。
Google Chromeでの例です。



証明書

×

目的(N): <すべて> ▼

個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼されない発行元

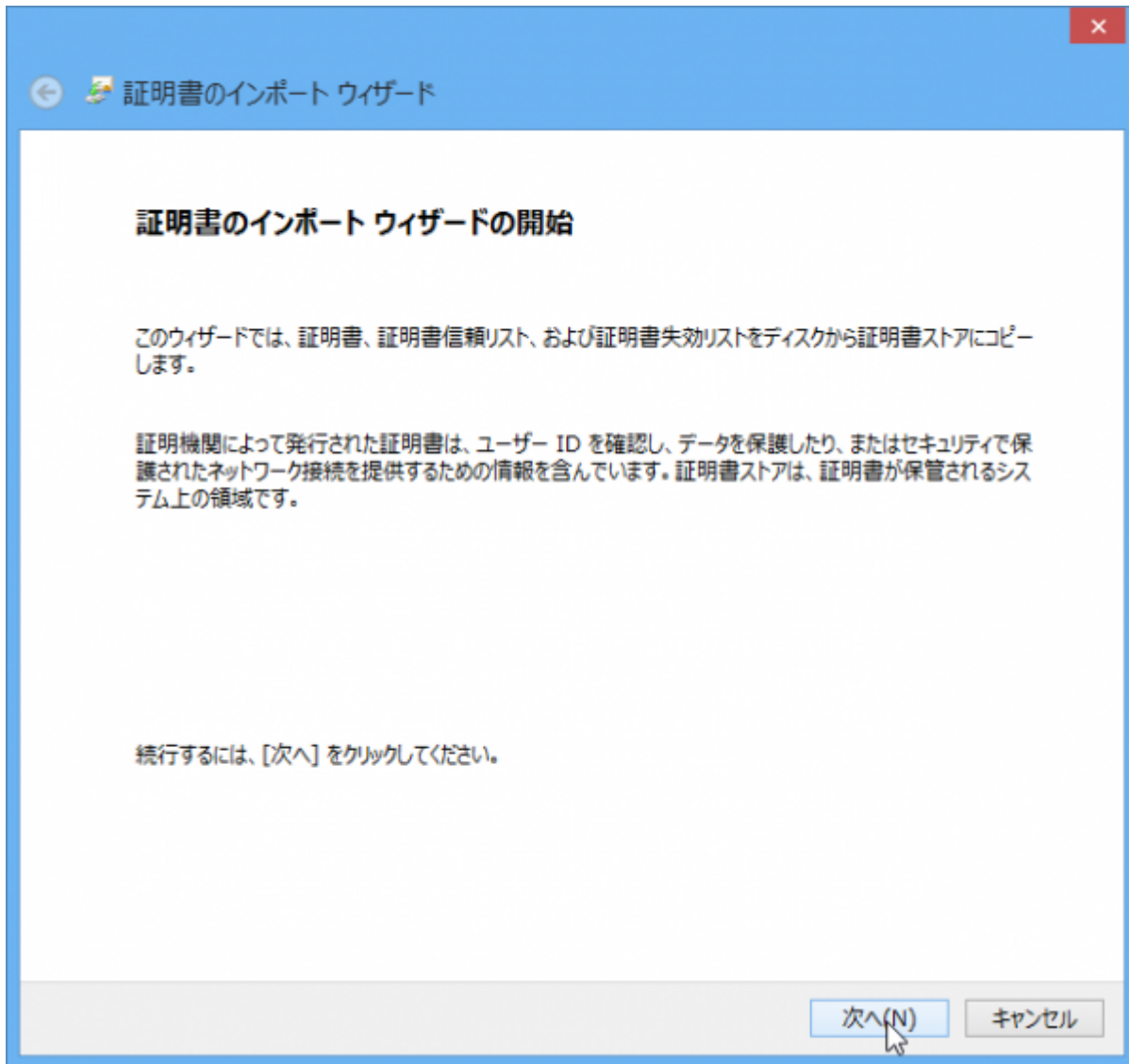
発行先	発行者	有効期限	フレンド名	

インポート(I)...エクスポート(E)...削除(R)詳細設定(A)

証明書の目的

表示(V)

閉じる(C)



← 証明書のインポート ウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名(F):

注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:

- Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ(N) キャンセル

✕
← 📄 証明書のインポート ウィザード

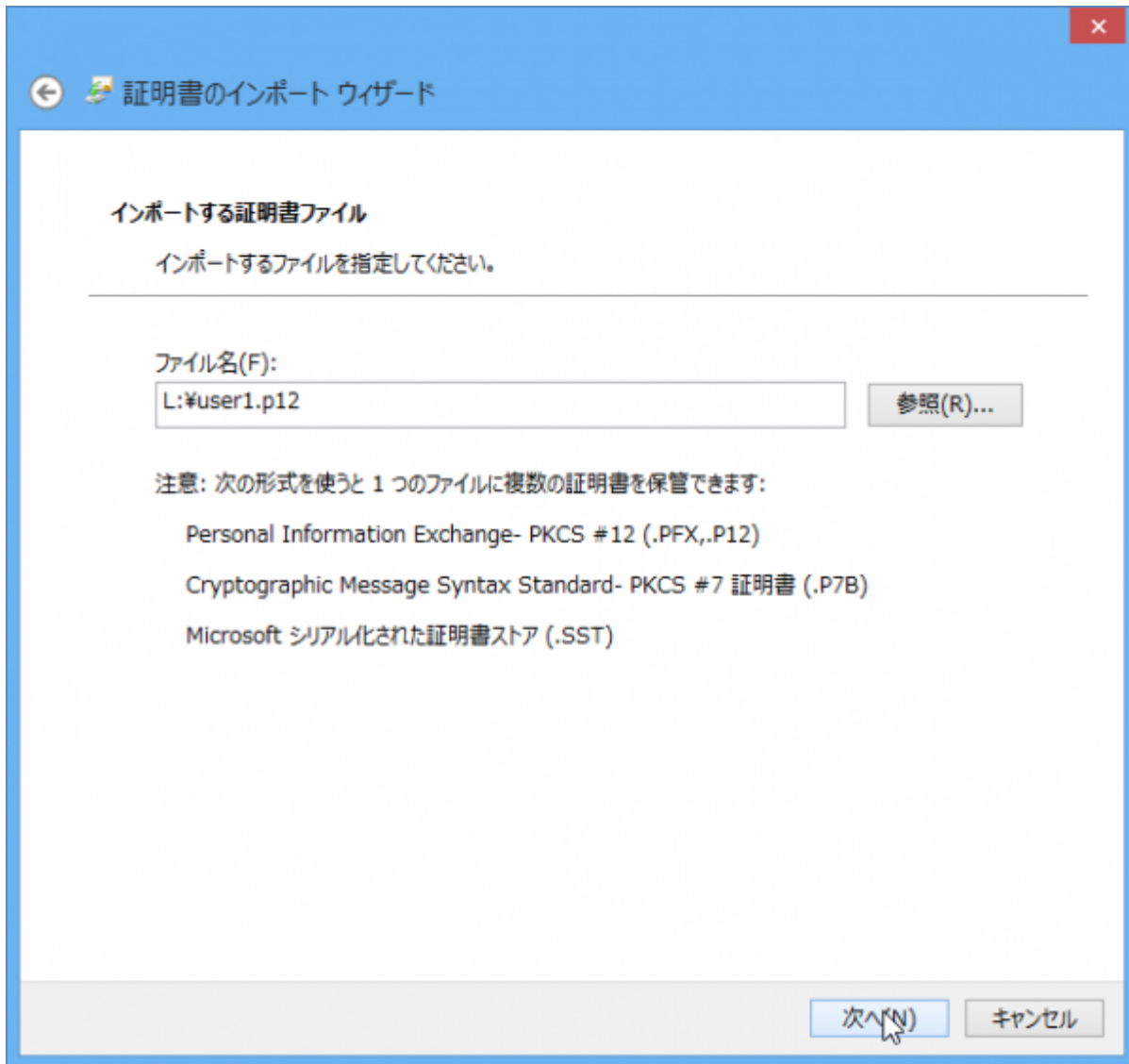
インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名(F):

注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:

- Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, .P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)



The screenshot shows a window titled "証明書のインポート ウィザード" (Certificate Import Wizard). The main heading is "インポートする証明書ファイル" (Certificate file to import), followed by the instruction "インポートするファイルを指定してください。" (Please specify the file to import). Below this is a text input field for "ファイル名(F):" (File name) containing "L:¥user1.p12" and a "参照(R)..." (Browse...) button. A note states: "注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:" (Note: Using the following format, you can store multiple certificates in one file:). The supported formats listed are: "Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, .P12)", "Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)", and "Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)". At the bottom right, there are "次へ(N)" (Next) and "キャンセル" (Cancel) buttons.

✕
← 証明書のインポート ウィザード

秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):

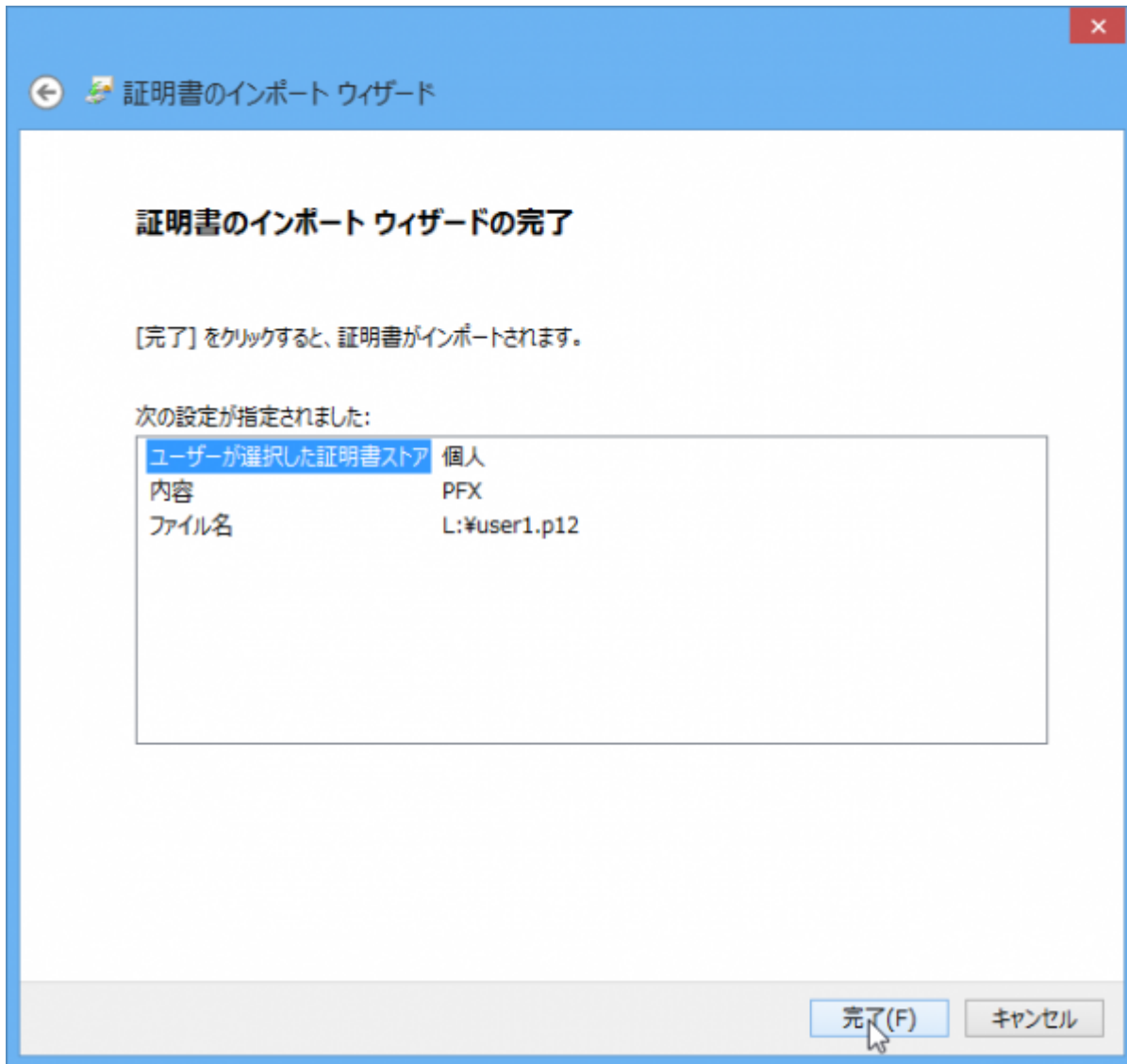
パスワードの表示(D)

インポート オプション(I):

秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。
 このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。
 すべての拡張プロパティを含める(A)

The screenshot shows a window titled "証明書のインポート ウィザード" (Certificate Import Wizard). The window has a blue header bar with a back arrow icon and a close button. The main content area is white and contains the following text and controls:

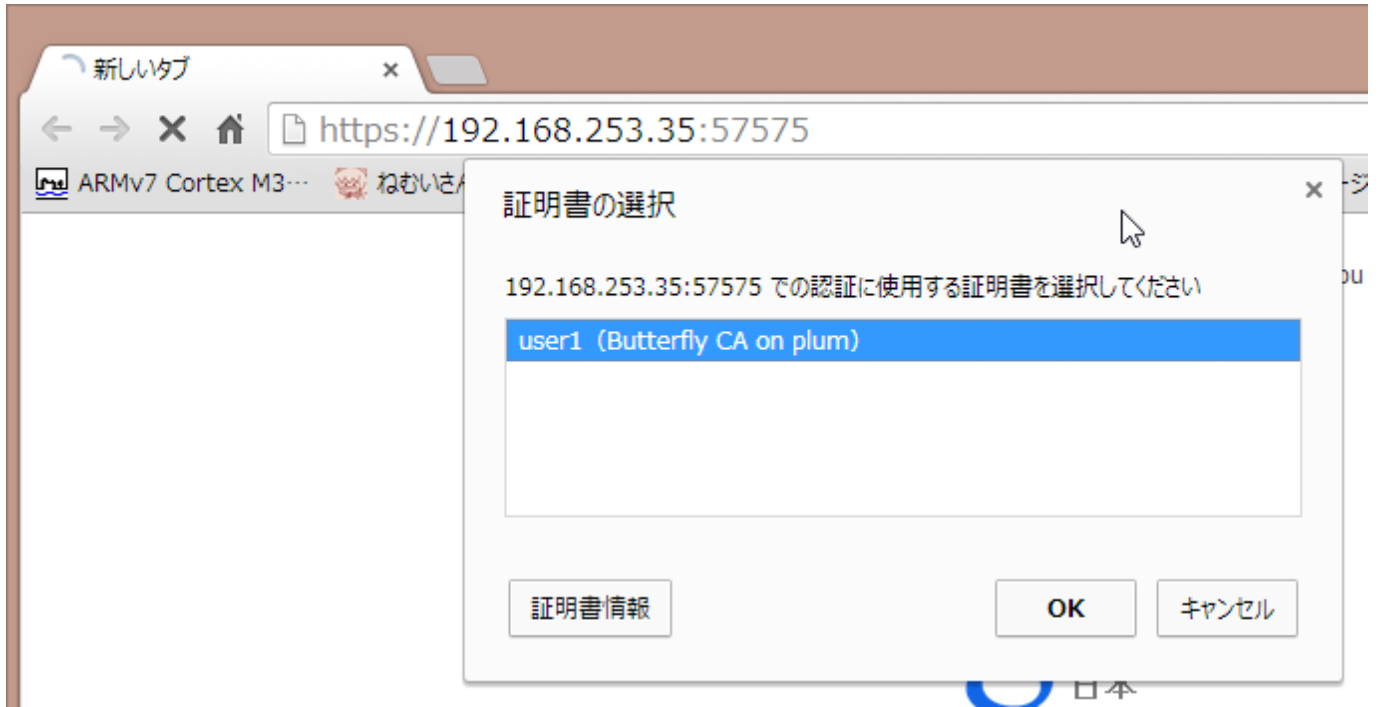
- 証明書ストア** (Certificate Store)
- 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。(Certificate stores are areas on the system where certificates are stored.)
- Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。(You can either let Windows automatically select a certificate store or specify the location of the certificate.)
- Two radio button options:
 - 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U) (Automatically select a certificate store based on the type of certificate (U))
 - 証明書をすべて次のストアに配置する(P) (Place all certificates in the following store (P))
- A label "証明書ストア:" (Certificate store:)
- A text input field containing the text "個人" (Personal).
- A button labeled "参照(R)..." (Browse...).
- At the bottom right, there are two buttons: "次(N)" (Next) and "キャンセル" (Cancel).



これで証明書がインポートできました。

ブラウザでのアクセス

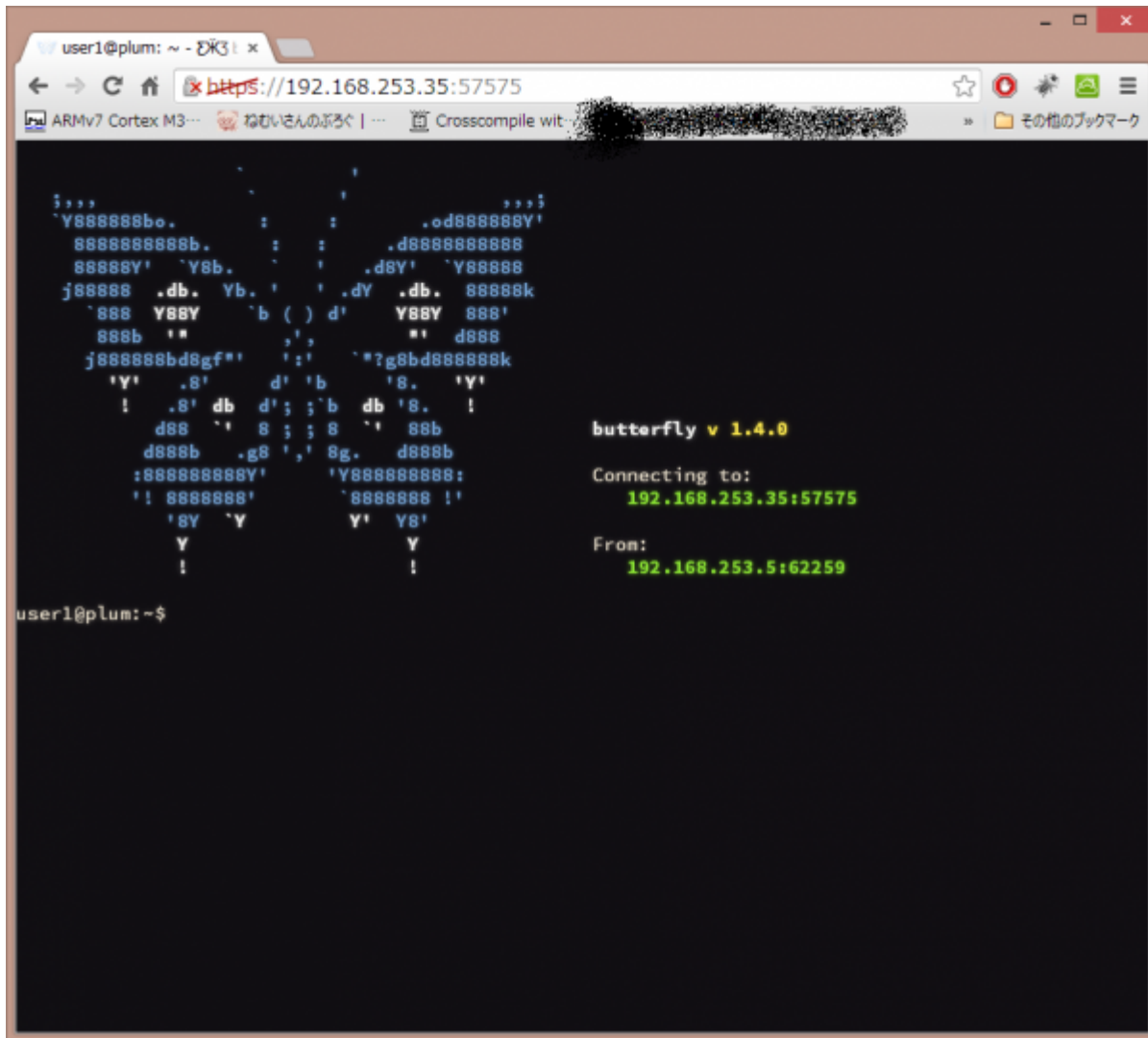
ブラウザでアクセスしてみます。
証明書を選択するダイアログが表示されます。



いわゆる“オレオレ証明書”で署名されたものですので、警告されますが、“このまま続行”をクリックします。



ターミナルの画面が表示されました。



- 1) <http://paradoxxxzero.github.io/2014/02/28/butterfly.html>
- 2) <https://github.com/paradoxxxzero/butterfly>

From:
<https://ma-tech.centurysys.jp/> - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki

Permanent link:
https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mae3xx_ope:use_web_terminal:start

Last update: 2018/12/24 08:05

